

パートナー

**山崎卓也** (YAMAZAKI, Takuya)



(第二東京弁護士会)

## 経歴

---

- 1993年 3月 早稲田大学法学部 卒業
- 1994年 10月 司法試験 合格
- 1995年 4月 司法研修所 入所
- 1997年 4月 弁護士登録 (第二東京弁護士会) マックス法律事務所 入所
- 2001年 1月 Field-R 法律事務所 設立

## 主な活動・資格等

---

- ・ [スポーツ仲裁裁判所\(CAS\)](#) 仲裁人
- ・ [国際サッカー連盟 \(FIFA\) 紛争解決室](#) 仲裁人 (2009年～2019年。CAS 仲裁人就任に伴い退任)
- ・ 日本サッカー協会認定選手エージェント (1999年～2009年。FIFA 紛争解決室仲裁人就任に伴い 2009年 7月に資格を返還)
- ・ [国際プロサッカー選手会 \(FIFPRO\)](#) 理事
- ・ [国際プロサッカー選手会 \(FIFPRO\) アジア・オセアニア支部](#) 代表 (2016年～2024年)
- ・ [世界選手会\(World Players Association\)](#) 理事
- ・ [国際インディーズレーベルネットワーク \(WIN\)](#) 理事
- ・ [IMPEL](#) 理事 (2022年-2024年)
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・人権労働・参加協働ワーキンググループ](#) 委員 (座長)
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・持続可能性に配慮した調達コードに基づく通報受付窓口に係る助言委員会](#) 委員候補者
- ・ [芸団協実演家著作隣接権センター \(CPRA\)](#) 法制広報委員会委員 (2007年～2015年)
- ・ [日本スポーツ法学会](#) 理事
- ・ [アジアスポーツ法学会](#) 理事
- ・ [一般社団法人スポーツビジネスアカデミー](#) 理事
- ・ [ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」](#) 起草委員会委員

- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#)・スポーツ仲裁法研究啓発活動委員会委員（2007年～2014年）
- ・ 日本スポーツ仲裁機構・スポーツ界のガバナンスに関する委員会委員（2010年～2011年）
- ・ 日本スポーツ仲裁機構仲裁人・調停人候補者
- ・ [日本体育協会](#)・国民体育大会の参加資格に関する第三者委員会委員（2010年～2011年）
- ・ 日本弁護士連合会・弁護士業務改革委員会スポーツ・エンターテインメント法促進PT 幹事
- ・ [英国スポーツ法サイト "LawInSport"](#) 編集委員
- ・ フランススポーツ法サイト "[droitdusport.com](#)" 発行 "Football Legal" 学術委員
- ・ [国際サッカー弁護士会](#) 会員
- ・ [国際エンターテインメント弁護士会](#) 会員
- ・ スペイン [ISDE Law Business School](#) 非常勤講師（Master in International Sports Law）
- ・ [中央大学法学部](#) 非常勤講師（2007～2016年「健康・スポーツ科学 B（スポーツ法）」担当）
- ・ [早稲田大学法科大学院](#) 非常勤講師（2007～2016年「スポーツ・エンターテインメント法」担当）
- ・ [日本大学スポーツ科学部](#) 非常勤講師（2016年「スポーツの法と倫理」）
- ・ [MPA 音楽著作権管理者養成講座](#) 修了（1997年）
- ・ "[The Best Lawyers International](#)" - Japan における "Media and Entertainment Law" と "Sports" の 2つの分野で 2009年の調査開始以来継続して Best Lawyers の 1人に選出
- ・ 2009年8月29号・週刊ダイヤモンド「本当に使える企業弁護士」のエンタメ・スポーツジャンルにおける「厳選！有名企業も頼りにする『らっ腕弁護士』」2名のうちの1名に選出
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "The International Who's Who of Sports & Entertainment Lawyers" の 1人に選出（2013年～）
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "Who's Who Legal Japan: Sports & Entertainment - Sport" の 1人に選出（2014年～）

## 著作・論文

---

### 書籍等

---

- ・ [「エンターテックブック 日本人のためのグローバル著作権ビジネス講座 今、世界で起きている著作権バトルと成功のための未来予測」](#) (PHP 研究所・共著)
- ・ [“THE FIFA REGULATIONS ON WORKING WITH INTERMEDIARIES”](#) (International Sports Law and Policy Bulletin (Issue 1 – 2016)) (共著) Sports Law and Policy Centre 刊
- ・ [「標準テキスト・スポーツ法学」](#) (エイデル研究所。共著。「スポーツと国際法」担当)
- ・ ["REGULATING EMPLOYMENT RELATIONSHIPS IN PROFESSIONAL FOOTBALL A COMPARATIVE ANALYSIS"](#) (Sports Law and Policy Centre・共著。"Japan" 担当)
- ・ [「スポーツガバナンス実践ガイドブック」](#) (民事法研究会・共著)
- ・ ["International and Comparative Sports Justice"](#) ([Sports Law and Policy Centre](#)・共著。"Sports Justice in Japan" 担当)
- ・ 「詳解スポーツ基本法」(成文堂・共著)
- ・ ["Sports Law in Japan"](#) (International Encyclopedia of Laws Series。Kluwer Law International 刊)
- ・ 「エンターテインメント法」(学陽書房。「プロスポーツ」担当)
- ・ ["PLAYERS' AGENTS WORLD WIDE LEGAL ASPECTS"](#) (ASSER International Sports Law Centre 刊・"Japan" 担当。平田竹男教授名義の論文に実質の執筆者としてクレジット)
- ・ 「プロ野球の問題点とこれからの法政策」(神戸大学法政策研究会編「法政策学の試み—法政策研究(第11集)特集・改革期のプロ野球」所収)
- ・ 「著作権法コンメンタール」(勁草書房刊・共著)
- ・ 「トップスポーツビジネスの最前線—スポーツライティングから放映権ビジネスまで」(講談社刊・「スポーツの法務」担当)
- ・ 「ネットショップ開業法律ガイド」(日経 BP 社刊・共著)
- ・ 「知的財産権辞典」(三省堂刊・共著)
- ・ 「インターネット・デジタルコンテンツの法律知識と Q&A」(法学書院刊・共著)
- ・ 「インターネットビジネスの法律ガイダンス」(毎日コミュニケーションズ刊・共著)
- ・ 「デジタル時代の著作権ビジネス契約実務マニュアル」(インプレス刊・執筆担当)

## 論文・雑誌連載等

---

- ・ ポッドキャスト [Music Ally Japan Focus ～グローバル・トレンドから学ぶ音楽ビジネス～](#) (2022年8月～)
- ・ 「移籍金で「稼ぐ」時代の終焉。ディアラ判決が国際サッカー界を震撼させている理由」[前編・後編](#) (「フットボリスタ」)
- ・ 「文化・社会的側面から見たアジアサッカーの変化と現在」([SHUKYU Magazine](#)・11号-Asia Issue)
- ・ 「[過密日程と強度向上による生存競争。ケガとともに生きる](#)」(「フットボリスタ」)
- ・ 「[ESL 再燃にとどまらない ECJ 判決の余波](#)」(「フットボリスタ」)
- ・ 「[Jリーグ秋春制移行の行方をも占う4つのキーワード](#)」(「フットボリスタ」)
- ・ 「[新代理人規制の背景にある FIFA の狙い](#)」(「フットボリスタ」)
- ・ 「[巨大市場「選手データ売買ビジネス」とは何か？～FIFA が示す現在地と巨大市場の未来～](#)」(「フットボリスタ」)
- ・ [吉田麻也「地球8周分」移動の裏にあるサッカーエコシステムの中央集権問題](#) (「フットボリスタ」)
- ・ [法務面から見る MCO 規制の現状と限界 ～焦点となるのは「影響力」の制限方法～](#) (「フットボリスタ」)
- ・ [欧州スーパーリーグ\(ESL\)～「独禁法で勝てる」が誤算。失敗の本質を考える](#) (「フットボリスタ」)
- ・ [FIFA で議論が進むフットボールエコノミーの新しい形](#) (「フットボリスタ」)
- ・ Sports Law Policy Centre x LawInSport “[Coronavirus and its impact on football](#)” "Japan" 担当)
- ・ New York Times Interview “[Second Best in the World, but Still Saying Sorry](#)”
- ・ Nikkei Asia “[Japanese parents and sports coaches need to stop hitting children](#)”
- ・ 「世界のアスリートにとっての歴史的な3日間 ～スポーツにおけるディーセント・ワークに関する ILO フォーラムに参加して～」(「[WORK & LIFE 世界の労働](#)」2020年第2号・ILO 協議会)
- ・ "[Sanctioning Freedom of Speech in Asian Football – Between Fair Comment and Unsporting Behaviour](#)"(droitdusport.com 刊「Football Legal」#10)
- ・ "[Advocacy for International Players in the Event of Termination by the Club](#)"(droitdusport.com 刊「Football Legal」#9)
- ・ 「[スポーツ法のこれからの役割ースポーツを通じて人権保障を実現する時代](#)」(日本評論社刊・「法学セミナー」2018年9月号)

- ・ 「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」(日本スポーツ法学会年報第 23 号 (2016)「アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題」)
- ・ 「大学院生(法科大学院を含む)を対象とした授業に関する報告」(日本スポーツ法学会年報第 22 号 (2015)「スポーツ法学教育のあり方を考える」)
- ・ 「[スポーツに関する国際的な法整備](#)」(ぎょうせい刊「法律のひろば」2015 年 10 月号)
- ・ "["TAKE THE "AMATEURISM" REGULATIONS OUT OF STUDENT SPORTS - THE COLLAPSE OF AMATEURISM IN JAPANESE AND US STUDENT SPORTS"](#) (英国スポーツ法サイト"[LawInSport](#)"刊 "UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME MAGAZINE")
- ・ "["Music Streaming in Japan"](#) (国際エンターテインメント弁護士会 2015 年学会誌)
- ・ "["Japanese Sports Law Blog"](#) (「[LawInSport](#)」2014 年 9 月～)
- ・ "World In Review - Japan" (droitdusport.com 刊「Football Legal」2014 年 6 月号)
- ・ 「スポーツガバナンスをめぐるヨーロッパの現状調査」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」2014 年 5 月号)
- ・ "["Sports Law 2014 - Virtual Round Table"](#) (専門家の 1 名として参加。「CorporateLiveWire」2014 年 3 月)
- ・ "An Analysis of IP Rights in Japanese Sports Business" (パート 1～2。「[LawInSport](#)」2014 年 1 月)
- ・ "["The Unionization of Sports Players & Athletes - The Global Trend of Unionization with a Focus on the World Football Players' Union \(FIFPro\)"](#) (体育科研 35 号 (2013 年) 上海政法学院)
- ・ 「Integrity 問題の法的な論点整理と国際的傾向～Sports Betting に関連する八百長問題、無気力試合・故意的敗退行為、その他～」(日本スポーツ法学会年報第 20 号 (2013)「法的観点から見た競技スポーツの Integrity～八百長、無気力試合とその対策を中心に」)
- ・ "The Rights 'Revolution' for Pro Stars in Japan" (パート 1～3。「[LawInSport](#)」2013 年 5 月)
- ・ "["The Prospect of and Need for Sports Arbitration in Asia - a Japanese Lawyer's Perspective"](#) (「[LawInSport](#)」2013 年 2 月)
- ・ 「音楽人」養成メルマガ「クラウド時代の超ラディカル著作権論」(2012 年 12 月から 2013 年 4 月まで連載)
- ・ 「スポーツ選手の組織化・その背景と世界的潮流～国際プロサッカー選手会 (FIFPro) をを中心に」(旬報社刊「労働法律旬報」1785 号 (2013 年 2 月上旬号))

- ・ 「The Recent "Revolution" for the Rights of Professional Players in Japan」(フィンランドスポーツ法学会 2012 年学会誌)
- ・ 「スポーツビジネスにおける知的財産権法の" Misdirection play"」(日本知的財産協会刊「知財管理」2012 年 9 月号)
- ・ 「プロ野球選手肖像権訴訟に関する一考察」(早稲田大学浦川道太郎教授と共著。民事法研究会刊「Law&Technology」57 号 (2012 年 10 月発行))
- ・ 「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」(日本スポーツ法学会年報第 17 号 (2010)「アジア各国におけるスポーツ法の比較研究」)
- ・ 「講演録・著作権紛争はいかに解決されるべきか—「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題—」(著作権情報センター刊「コピーライト」2009 年 9 月号)
- ・ 「我が国のプロ野球・サッカー選手の権利と弁護士の役割」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」2009 年 8 月号)
- ・ "Sports Betting and the Law in Japan" (International Sports Law Journal 2009/1-2)
- ・ スポーツビジネスオンライン (Sports Business-Online) 連載・「5 opinions」「プロスポーツ法務の最前線」など
- ・ 「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」(日本スポーツ法学会年報第 14 号 (2007)「プロスポーツの法的環境」)
- ・ 「講演録・著作権、パブリシティ権侵害における「実質的違法性」(著作権情報センター刊「コピーライト」2006 年 8 月号)
- ・ 「プロ野球問題と法律、法律家の役割」(日本評論社刊「法学セミナー」2005 年 5 月号)
- ・ 「放送・通信融合」を法律から読み解く (インプレス刊「INTERNET magazine (インターネットマガジン)」2005 年 5 月号)
- ・ 「プロ野球代理人交渉制度導入への経緯、実施状況と今後の課題—選手が求めるもの、制度導入への戦いと今後の課題」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」2001 年 9 月号)
- ・ ZDNet: Helpdesk - How-to 「e-Business 実践法律講座」(共著・2000 年)
- ・ 「デジクリ」 (ソニーマガジンズ刊) における著作権コラム連載 (1998 年～1999 年)

## 講演・セミナー履歴等

---

---

### 2024 年

---

- ・ 英国・UCFB Wembley Annual Careers Fair [“World Football Confederation”](#)
- ・ 台湾国立体育大学 “Supporting Athletes in Sports Arbitration”
- ・ 英国イングランドサッカー選手会・[PFA Business School](#) “UNIQUENESS OF JAPANESE FOOTBALL STRUCTURE”
- ・ 英国・マンチェスター [Beyond The Music](#) “The Future is a Foreign Country: How Emerging Markets Are Rebooting the Music Business”
- ・ 英国・ロンドン Music Ally Publishing Summit 2024 [“The Future of CMOs”](#)
- ・ スペイン・マジョルカ [IMPF GLOBAL MUSIC SUMMIT “The IMPEL Odyssey; A Publishers Eye View”](#)
- ・ セルビア・ベオグラード [Runda Digital Day](#)
- ・ スペイン・バルセロナ [Primavera Sound “UGC: STATE OF THE ART”](#)
- ・ 英国・ロンドン [LawInSport Football Law Conference “The growing football landscape in Asia & Middle East”](#)
- ・ [Music Ally Japan デジタル・サミット 2024](#) 「生成 AI と音楽業界」
- ・ 英国・ロンドン Music Ally Connect 2024 [“Japan’s evolution in the streaming era”](#)

### 2023 年

---

- ・ [Music Ally Japan ビジネスサミット 2023](#) 「Web3、AI をファンエンゲージメントのためにどう使うか」
- ・ JSAA [スポーツ仲裁シンポジウム—日本スポーツ仲裁機構の 20 年とこれから—](#)  
[「国際スポーツ仲裁のキャリアパス」](#)
- ・ 米国・ナッシュビル [Music Biz 2023 “Global to Local: Soft Skills, Hard Money & New Opportunities”](#)
- ・ [Music Ally Japan デジタル・サミット 2023](#) 「より多く、正確に演奏権印税を確保していくためにはどうしたらよいか」
- ・ IMCJ (Independent Music Coalition Japan) [Independent Next 2023 「ストリーミングと印税に関する制度と契約の国際動向最前線」](#)

## 2022 年

---

- ・ SBA (スポーツ ビジネス アカデミー) 運営オンラインサロン「THE BASE」 日本のスポーツ界とスポーツベッティング
- ・ 新社会システム 「[Direct to Fan 時代における Web3 ビジネス戦略](#)」
- ・ SBA (スポーツ ビジネス アカデミー) 運営オンラインサロン「THE BASE」 欧米スポーツビジネス&ロートレンド (2022-2023 年 全 12 回)
- ・ [Music Ally Japan デジタル・サミット 2022](#) 「今、改めて考える音楽出版ビジネスとその未来」

## 2021 年

---

- ・ VIPO 映像産業振興機構「[音楽シンクビジネス法律編：賢くグローバルに稼ぐための法律知識](#)」
- ・ 慶應義塾大学 法科大学院 労働法ワークショップ・プログラム 「スポーツと労働組合法」
- ・ Tokyo International Music Market -TIMM 「[オランダ×日本／アーティストコラボプロジェクト](#)」
- ・ [IMCJ アジアパシフィックミュージックサミット](#) 「アジアパシフィック地域のアライアンスで作る音楽業界の未来」
- ・ [Asia International Arbitration Centre \(AIAC\) “A Year into COVID-19 - The Strain on the Sports Industry and Athletes' Mental Health”](#)
- ・ スペイン・バレンシア Berklee College of Music “Asia Music Business Seminar”
- ・ [Music Ally Japan デジタル・サミット 2021](#) 「ストリーミング時代における著作権、原盤権のマネタイズ戦略」
- ・ Music Ally Japan デジタルサミット [2021 Prelude 「デジタルで音楽を売る」の今と未来](#) 「音楽の値段」と契約の未来
- ・ SBA (スポーツ ビジネス アカデミー) 運営オンラインサロン「THE BASE」 [五十嵐亮太 日米 23 年のキャリアから語る日本野球の現在地](#)

## 2020 年

---

- ・ 上智大学「現代文化としてのスポーツ II\_12」 スポーツと法律がもたらす 21 世紀型社会変革
- ・ SBA (スポーツ ビジネス アカデミー) × 「フットボリスタ」 コラボイベント グローバル・フットボール・エコノミーのあるべき未来像と日本のこれから



- ・ Tokyo International Music Market -TIMM 「[アジアの音楽ビジネス最前線](#)」
- ・ Asia International Arbitration Centre (AIAC) - September Sports Month “Building Your Career As A Sports Arbitrator”
- ・ China International Music Expo-IMX “The Growth of Chinese and International Indie Music (Session APAC)”
- ・ 英国 BPI / ERA - [Serving the Superfans “Japanese Fan Engagement Business”](#)
- ・ ニューミドルマンコミュニティマンスリーMeetUp [グローバル著作権ビジネス Wars](#)
- ・ スペイン・バレンシア Berklee College of Music “How do you promote Japanese music in the global market?”
- ・ 台湾国立体育大学 「Legitimacy and the future of CAS」

## 2019 年

---

- ・ UNIGlobalUnion-LCJapan 「スポーツと人権」
- ・ IMCJ (Independent Music Coalition Japan) New Standard Music Marketing 講座「[デジタルで音楽の対価と契約はどう変わったか](#)」
- ・ All That Matters (Music Matters) 2019 「[Entertainment Law in the Digital Age](#)」
- ・ Asia International Arbitration Centre (AIAC) - International Sports Law Conference [「2019 Sports Arbitration Update: Hot Topics and Recent CAS Decisions」](#)
- ・ Play the Game 2019 (米国・コロラドスプリングス) “The Most Inclusive Games ever?- Interim report on Tokyo 2020 human rights legacy- ”
- ・ Bangkok Music City (タイ・バンコク) “Why Japan is the biggest physical music market in the world”

## 2018 年

---

- ・ 日本オリンピック委員会(JOC)アントラージュ専門部会 [「アスリートのプロ化とエージェント・マネジメント」](#)
- ・ ROMANIAN SPORTS FORUM (ブカレスト・ルーマニア) [「The Current State of Economics and Legacy of the Olympic Games」](#)
- ・ Centre for Sport and Human Rights+経済人コー円卓会議日本委員会 [「Implementing Respect for Human Rights in Sporting Events: Two years to go for the 2020 Tokyo Olympic & Paralympic Games」](#)
- ・ [LawInSport "Japan: Update on the commercial and regulatory legal issues ahead of the Rugby World Cup and Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games" \("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London\)](#)

- ・ [AIAF \(International Association for Football Lawyers\) "FOOTBALLERS' CONTRACTS"\(6th AIAF CONGRESS\)](#)
- ・ [MaMA Festival and Convention 2018 \(パリ・フランス\) 「DAWN OF THE INDUSTRY OF THE ARTISTS」](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「21世紀型スポーツビジネスと、東京五輪の「今」](#)
- ・ [西村あさひ法律事務所リーガルフォーラム 「FIFAが取り組むステークホルダー・エンゲージメントと、五輪を含む人権尊重ムーヴメント」](#)
- ・ [ユニセフ 「子どもの権利とスポーツの原則」 発表イベント・シンポジウム ～ 子どもが活きるスポーツの在り方」](#)

## 2017年

---

- ・ [NY:LON Connect \(ロンドン・イギリス\) "ALL CHANGE: LEADING MARKETS IN TRANSITION - Japan"](#)
- ・ [アジアスポーツ法学会 \(韓国・ソウル\) 「オリンピックなどのメガスポートイベントが生み出す新たな法的トレンド～国際的な法整備機能と人権保障機能～」](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「国際スポーツビジネスの『成功の方程式』としてのルールメイキング力」](#)
- ・ [SXSW \(オースティン・米国\) 「Demystifying Asia's Music Industry」](#) (シンポジウムのパネリストとして参加)
- ・ [台湾国立体育大学 "International Law and Sports", "Globalization of Union Movement"](#)
- ・ [台湾スポーツエンターテインメント法学会 \(TASSEL\) "Response to Racism and Hooliganism in Sports"](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「学生スポーツのあるべき姿を考える～100年先に行くNCAAから何を学ぶべきか～」](#)
- ・ [IHRB+経済人コー円卓会議日本委員会 「OPERATIONAL GREIVANCE MECHANISMS IN THE CONTEXT OF TOKYO 2020」](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「サッカークラブのGMという仕事」](#)
- ・ [慶應義塾大学ロースクール・経済法ワークショップ 「プロフェッショナル・スポーツと独占禁止法」](#)

## 2016年

---

- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「国際スポーツの現場から見えるスポーツの潜在力とビジネストレンド」](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー 「スポーツビジネスにおける『成功の方程式』」](#)

- ・ ピープルフォーカス・コンサルティング——グローバル・エンゲージメント・イニシアチブ有志会「[社会的課題解決プロデューサーとしてのスポーツ](#)」
- ・ 経済人コー円卓会議日本委員会 "Grievance Procedures in Sports Federations – FIFA DRC"
- ・ MU:CON (韓国・ソウル) "Current Status and Future Trends of Digital Music Distribution in Japan - An International Perspective -"
- ・ ニューミドルマン養成講座「[グローバル著作権ビジネス～今、世界で起きているバトルと、成功のための未来予測～](#)」
- ・ 日本ファンドレイジング協会×スポーツビジネスアカデミー「[CSV時代のスポーツと企業とNPOの幸せな関係](#)」(シンポジウムのパネリストとして参加)
- ・ 日本スポーツ法学会「[ロシア・ドーピング問題が提起した課題～規制強化は本当に効果的か。競技者の人権の観点～](#)」

## 2015年

---

- ・ LawInSport "Athletes Welfare" ("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London)
- ・ 若手法曹国際協会(AIJA)「国際的なスポーツ法弁護士になるためのキャリアアップ—FIFAの仲裁人, プロスポーツ選手のエージェント, スポーツビジネスに関する国際交渉」
- ・ 大阪弁護士会スポーツ・エンターテインメント法実務研究会「スポーツ界で仕事をしている弁護士の一例」
- ・ SXSW アジア事務局「SXSW Musicでのセミナーに見るサブスク時代の最新音楽著作権バトル」
- ・ 国際エンターテインメント弁護士会 "[The Legal Update for Entertainment & Technology \(Japan\)](#)"
- ・ アジアスポーツ法学会「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」
- ・ 日本弁護士連合会「[青少年アスリートのスポーツ権の確保と弁護士の役割](#)」(コーディネーター兼パネリスト)
- ・ 日韓弁護士協議会「スポーツ選手及び芸能人の専属契約における問題点～芸能人・選手側が専属契約を終了させたい場合の実務的・法的問題点～」

## 2014年

---

- ・ [仙台大学](#)「サッカー選手の代理人業務の現状とこれから」
- ・ オランダ・[Asser 国際スポーツ法センター](#) "Sports Justice in Japan"

- ・ [UNI Sport Pro](#) "The Saga of 'Reforming the Posting System' - Multilateral negotiation and the economics of international baseball transfers"
- ・ [FIFPro \(国際サッカー選手会\) 及び APPI\(インドネシアサッカー選手会\)](#) "Fundamental Players' Rights Guaranteed by the FIFA Regulations - Fundamental Knowledge for the 'Good of the Game'"
- ・ 国際サッカー弁護士会 "What strategies can players employ to exploit their image rights?"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポンサー契約を通じたグッドガバナンス」
- ・ 国際法曹協会 (International Bar Association) "[Corruption in Sport](#)"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ法学教育の在り方ー法科大学院生を対象とした授業に関する報告」

## 2013 年

---

- ・ 中国・上海 Boss & Young 法律事務所 "FIFA DRC"
- ・ アジアスポーツ法学会 "Sports Governance in Japan"
- ・ 早稲田大学「スポーツ法とは何か」 (ロブ・シークマン教授の通訳)
- ・ 日本弁護士連合会「スポーツ界におけるグッドガバナンスとフェアプレーの精神」 (ロブ・シークマン教授の通訳とスポーツガバナンス海外調査報告担当)

## 2012 年

---

- ・ [同志社大学](#)「国際スポーツ法務」
- ・ オランダ・ユトレヒト [CMS 法律事務所](#) "Sports Law in Japan"
- ・ 愛知県弁護士会「サッカー選手の代理人業務と弁護士業務」
- ・ 中国・[北京師範大学](#) "Sports Law in Japan"
- ・ 早稲田大学「トップスポーツビジネスの最前線」
- ・ 日本スポーツ法学会「法的観点から見た競技スポーツの Integrityー八百長、無気力試合とその対策を中心にー」

## 2011 年

---

- ・ 日本スポーツ法学会「東日本大震災がプロスポーツに与えた影響と法的問題」
- ・ [札幌学院大学](#)「プロスポーツにおける選手の権利と法律家・代理人の役割」
- ・ アジアスポーツ法学会 "The analysis and prospect of sports arbitration in Asia"
- ・ [UNI Global Union](#) "Fight for the players' rights in Japanese Baseball."

## 2010年

---

- ・ 日本スポーツ仲裁機構シンポジウム「世界におけるスポーツ仲裁と日本」
- ・ 中国・[武漢大学](#)他 "Sports Betting and Match-Fixing in Japan"
- ・ 日本スポーツ仲裁機構「FIFA 仲裁」
- ・ [国際スポーツ法学会 \(IASL\) 第16回大会](#) "Recent Changes in the Rights of Professional Sports Players/Athletes in Japan and the Rule of Law"

## 2009年

---

- ・ 著作権情報センター「著作権紛争はいかに解決されるべきか—「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題—」
- ・ FIFPro (国際サッカー選手会) Lawyers' Network "Developments in the transfer system in Japan"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ権とスポーツ基本法」
- ・ アジアスポーツ法学会「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」
- ・ 韓国・[中央 \(Chung-Ang\) 大学](#) "The rights of professional players in Japan"

## 2008年

---

- ・ 日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁の制度改革への影響」
- ・ サニーサイドアップ・EGG FACTORY 特別講義「スポーツエージェントの実際」
- ・ ジェブエンターテイメント「選手を支えるフットボールビジネスセミナー・選手の肖像権の実務とトラブルのケーススタディ」
- ・ 第二東京弁護士会スポーツ法政策研究会「日本サッカー協会認定選手エージェントとしての業務」

## 2007年

---

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS) 「知的財産権基礎セミナー」 (「肖像・パブリシティ権」担当)
- ・ 神戸大学法政策研究会「プロ野球の問題点とこれからの法政策」

## 2006年

---

- ・ 映像実演権利者合同機構 (PRE) 「実演家の権利」

- ・ 著作権情報センター「著作権、パブリシティ権侵害における『実質的違法性』」
- ・ 日本俳優連合「実演家の権利—ワンチャンス主義の適用範囲と限界」
- ・ グロービス・マネジメント・スクール・あすか会議「スポーツ法務という裏方仕事」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」
- ・ IT企業法務研究所（LAIT）「エンタテインメントビジネスと独禁法・下請法」
- ・ 日本スポーツ法学会「プロスポーツにおける選手契約の実像～日本のプロ野球とJリーグにおける選手契約の比較～」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）「知的財産権基礎セミナー」（「肖像・パブリシティ権」担当）
- ・ 日本スポーツ法学会「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」

## 2005年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「最強プロデューサーの『実践的』著作権実務」
- ・ 新社会システム総合研究所「最強プロデューサーの『実践的』契約スキル」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」
- ・ 新社会システム総合研究所「『放送と通信の融合』に伴う法的諸問題の行方を追う」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）「知的財産権基礎セミナー」（「肖像・パブリシティ権」担当）
- ・ 帝京大学「スポーツマネジメント」（「プロスポーツ界の弁護士」担当）
- ・ 早稲田大学「トップスポーツビジネスの最前線」（「スポーツ法務」担当）

## 2004年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「『上級・ビジネス著作権検定』直前対策講座」
- ・ 日本スポーツ仲裁機構「スポーツビジネスにおける法的問題の概観」
- ・ 日本弁護士連合会・独占禁止法研究会「プロ野球参入障壁の実態と問題点」

## 2003年

---

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会「ソフトウェア開発契約のポイント」
- ・ 新社会システム総合研究所「携帯コンテンツ、ブロードバンドコンテンツ調達のための契約書作成マニュアル」
- ・ 新社会システム総合研究所「事例で考えるコンテンツビジネスにおける独禁法対策のポイント」

- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース「著作権とビジネス」
- ・ 総務省 2003 年度情報通信人材研修事業・財団法人原総合知的通信システム基金主催「放送番組制作者のための著作権技術研修」
- ・ 新社会システム総合研究所「コンテンツビジネスにおける権利侵害リスク判断・演習講座」

## 2002 年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「エンターテインメントファンドの法理と実務」
- ・ 総合教育セミナー（TED）「事例・判例で学ぶ肖像・パブリシティ権」
- ・ 新社会システム総合研究所「肖像パブリシティ権実務感覚養成講座」
- ・ 総合教育セミナー（TED）「最新事例、最新法制から見たインターネットと著作権」
- ・ 新社会システム総合研究所「5 月施行『プロバイダー責任法』時代のブロードバンド配信と情報伝達者の責任」
- ・ 総合教育セミナー（TED）「デジタルコンテンツの著作権処理と契約書作成ノウハウ」
- ・ 社団法人企業研究会「ブロードバンド時代の実践的著作権法務」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンドコンテンツ配信における権利侵害クレーム対応マニュアル」
- ・ 関西テレコムテクノロジー「コンテンツ配信をめぐる著作権問題」
- ・ 新社会システム総合研究所「放送と通信の融合に伴う法的諸問題」

## 2001 年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「デジタル時代の著作権処理と契約書作成マニュアル」
- ・ 日本計画研究所「事例で考える『デジタル時代の著作権処理と契約書作成』」
- ・ 新社会システム総合研究所「新法・著作権等管理事業法で変わる著作権ビジネスと契約実務」
- ・ アクセスブレイン「アーティストとの契約実務」
- ・ アクセスブレイン「エンターテインメントファンドと音楽制作ファンド」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンド著作権と権利処理実務」

## 2000 年まで

---

- ・ windows コンソーシアム「ビジネスモデル特許」（2000 年）
- ・ デジタル時代の著作権協議会（CCD）「インターネットと放送」（2000 年）
- ・ JAGAT「PAGE2000」講演「デジタル時代の著作権のあり方」（2000 年）

- ・ 総合教育セミナー (TED) 「デジタル時代の著作権処理と契約書作成ノウハウ」 (2000年)
- ・ 日本電子出版協会 (JEPA) 「著作権セミナー」 (1998年、1999年、2000年)
- ・ windows コンソーシアム 「デジタルコンテンツの著作権問題 (音楽編、出版編、映像・画像編)」 (1998年、1999年、2000年)
- ・ メディアアーティスト協会 (MAA) 「著作権講座 (仲介業務法)」 「著作権講座 (著作権バトルの事例考察)」 (1999年)
- ・ 日本ソフトウェア産業協会 (NSA) 「2000年問題への法的対処」 (1999年)
- ・ 札幌市情報システム調査研究会 「音楽ビジネス革命」 (1998年)
- ・ 文部省学術情報センター 「電子出版ビジネスと著作権」 (1998年)